

平成 25 年度事業計画

(平成 25 年 4 月 1 日－平成 26 年 3 月 31 日)

I. 定期学術集会・総会の開催

第 60 回日本実験動物学会総会を下記のとおり開催する。

会 期 : 平成 25 年 5 月 15 日 (水) ～17 日 (金)
会 場 : つくば国際会議場
会 長 : 小幡 裕一 (理化学研究所バイオリソースセンター)
参加者 : 約 1,000 名を予定

II. 通常総会、理事会、理事評議員懇談会の開催

通常総会 (1 回)、理事会 (3 回)、理事評議員懇談会 (1 回) を開催する。

III. 定期刊行物の発行

機関誌「Experimental Animals」および「実験動物ニュース」を下記のとおり発行し、
会員に希望配布する。

発行年月日	巻	号	備考
平成 25 年 4 月 1 日	62	2	
平成 25 年 5 月 1 日	62	サブプレメント (電子配信)	
平成 25 年 7 月 1 日	62	3	
平成 25 年 10 月 1 日	62	4	
平成 26 年 1 月 1 日	63	1	

IV. 研究の奨励、業績の表彰

(1) 第 25 回学会賞受賞者を表彰する。

1) 功労賞 (1 名)

佐藤 浩 会員 (自然科学研究機構生理学研究所)

2) 安東・田嶋賞 (2 名、五十音順)

岡部 勝 会員 (大阪大学微生物病研究所)

「遺伝子組み換えによる不妊モデルの開発とその解析」

芹川 忠夫 会員 (京都大学大学院医学研究科附属動物実験施設)

「ラット遺伝地図とラット・マウス・ヒト比較遺伝地図の作成研究」

3) 奨励賞 (2 名、五十音順)

成瀬 智恵 会員 (金沢大学学際科学実験センター)

「遺伝子改変マウスを用いた哺乳類の発生機構の研究」

新美 君枝 会員（理化学研究所脳科学総合研究センター）

「老化促進マウス（Senescence-Accelerated Mouse Prone 6: SAMP6）に対する網羅的行動解析試験を用いた脳機能研究」

4) 2012 年 Experimental Animals 最優秀論文賞（1 編）

関口 有佳里、大和田 淳也、大石 久史、勝又 斗紀夫、池田 香理、工藤 崇、高橋 智

「生物発光イメージングを利用した β 細胞マスと胎仔 β 細胞新生の非侵襲的検出」

(2) 2012 年日本実験動物学会国際賞の表彰を行う。

2012 年受賞者（7 名）

中国	: Bing Chen
台湾	: Chia-Yu Wu
インドネシア	: Permanawati
マレーシア	: Kamalan Jeevaratnam
フィリピン	: Patricia Diana S. Suiza
シンガポール	: Bao Zhen Tan
タイ	: Duangthip Chatchaisak

(3) 第 26 回日本実験動物学会功労賞、安東・田嶋賞ならびに奨励賞の推薦受付、選考を行う。

(4) 2013 年 Experimental Animals 最優秀論文賞の選考を行う。

(5) 2013 年日本実験動物学会国際賞の選考を行う。

V. 役員（平成 26～27 年度在任）の改選にかかわる諸事業

- (1) 会員名簿を作成する。
- (2) 理事候補者を選出する。

VI. 委員会等の活動

下記の委員会および必要なワーキンググループを設置し、それぞれの目的に応じた活動を実施する。

- a. 編集委員会
- b. 学術集会委員会
- c. 財務特別委員会
- d. 国際交流委員会
- e. 広報委員会
- f. 動物福祉・倫理委員会

- g. 定款・細則・規程等検討委員会
- h. 実験動物感染症対策委員会
- i. 教育研修委員会
- j. 実験動物管理者研修制度ワーキンググループ
- k. 動物アレルギー検討ワーキンググループ

VII. 関連学協会との連携

- (1) 日本学術会議及び生物科学学会連合の活動に協力する。
- (2) 国内の関連学会・協会との学術・情報交換を進め、その活動に協力する。
- (3) 国際実験動物科学会議 (ICLAS) およびアジア実験動物学会連合 (AFLAS) における活動を継続する。
- (4) 米国実験動物学会 (AALAS) など、海外関連学協会との学術・情報交流を推進する。
- (5) 公益財団法人実験動物中央研究所 ICLAS モニタリングセンターおよび日本動物実験代替法評価センターの活動に協力する。

VIII. その他

- (1) 第 60 回日本実験動物学会総会期間中に委員会主催のシンポジウムおよびセミナーを開催する。(学術集会委員会、動物福祉・倫理委員会、実験動物感染症対策委員会、教育研修委員会)
- (2) 平成 25 年度維持会員懇談会を実施する。(財務特別委員会)
- (3) 第 2 回実験動物科学シンポジウムを開催する。(学術集会委員会)
- (4) 実験動物管理者研修会を実施する。(実験動物管理研修制度ワーキンググループ)